

新刊紹介



編 者：(一社)日本建設業連合会
建築生産委員会 IT推進部会
BIM専門部会*

発 行：(一社)日本建設業連合会
仕 様：A4判／256ページ
価 格：1,000円(日建連会員企業)
3,000円(日建連会員企業以外)
*いずれも税込、送料別

購入方法：下記ウェブサイト参照



<https://www.nikkenren.com/publication/detail.html?ci=344>

施工BIMのスタイル 施工段階におけるBIMのワークフローに関する手引き2020

本書は、総合建設会社でBIMの業務に従事している技術者が執筆を担当した、多角的な施工BIMに関する解説書である。

日建連は、2010年に建築生産委員会IT推進部会の傘下にBIM専門部会*を設置し、施工BIMに関する活動の成果を積極的に公開してきた。2014年には、『施工BIMのスタイル 施工段階における元請と専門工事会社の連携手引き2014』(以下、『スタイル2014』)を発行し、施工段階のBIMを「施工BIM」と日本で初めて定義するとともに、施工者自身がBIMモデルを作成・活用することを提唱した。更に、2016年と2018年に事例集も発行した。一方、『スタイル2014』は施工BIMの取組みが始まった時期の発行であったため、現在見られるような多角化した取組みには触れておらず、その続編となる本書の発行が待たれていた。

本書は、『スタイル2014』の発行以降、総合建設会社や専門工事会社で多角的に始まった施工BIMの活用目的を「事前準備」「施工計画BIM」「施工図BIM」

「製作図BIM」「総合図BIM」「ICT建築土工」「周辺技術との連携」の7種類に分類し、それぞれのワークフローを15パターンとして提示、作業ポイントとともに解説している。加えて17事例の活用目的別モデルケースも掲載されており、工事工程とBIM実施工工程の関係性が具体的に示され、活用する目的を早期に定めることでBIMモデルの作成時期や関係者を巻き込む時期を綿密に計画していく必要性などがより分かりやすくなっている。

施工BIMの基本的な知識や業界動向、参画する立場によって変わる役割、役割ごとに必要となるスキルについても解説されており、BIMの人材育成を目的とした各種研修会でもテキストとして使用できる。これから施工BIMに参画する技術者や多角的な取組みを始める技術者にぜひ読んで欲しい内容だ。実務に直結できる内容になっている本書は、現在、そして今後の施工BIMを知るうえで重要な1冊である。

* BIM専門部会は、2021年4月から建築生産委員会直下の「BIM部会」となりました。

発行：一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館
TEL 03-3553-4095 FAX 03-3551-4954
URL <https://www.nikkenren.com/>

発行者：山本徳治
企画・編集：一般社団法人 日本建設業連合会 広報委員会
制作：株式会社Kプロビジョン
デザイン・印刷：株式会社スリーライト